

—地方講演会—

昭和63年度北海道支部地方講演会報告

札幌管区气象台 生 本 武

昨年10月14日、時雨模様の天候の中で昭和63年度支部地方講演会が函館市民会館に於いて開催された。今回の地方講演会は、会場設定、広報活動など事前準備から講演会当日まで函館海洋気象職員の全面的な協力によって行われ、154名の多数市民の参加で盛会裡に終了した。ここに講演会の経過について報告します。

一般的に市民を対象とした催しは、土・日曜日の開催が通例であるが、今回の講演会は平日に行うことが計画された。つまり、最近の傾向として土・日曜日は私的な時間としての意識が強いこと、気象講演会であれば防災機関、団体などでは勤務時間中でも参加することに問題はないのではとの意見一致で、平日開催が計画された。

開催時間も昼休みにかからない14～16時の2時間とする、会場は交通の便がよく、知名度の高い市民会館を利用する、などなどの綿密な計画が立てられた。

また、講演内容については検討の結果、地域に密着した最近の顕著な気象現象から取り上げる。丁度、台風12号の直後で、農業・漁業関係に大きな被害が出ており、地域住民の関心が強いことから、「渡島半島周辺の風」をテーマとした4題の講演と映画「台風」の上映が決った。

いよいよ講演当日、悪天候にかかわらず開演40分前からボツボツ入場があり、出足の好調が予感された。あらかじめ用意した200の椅子も定刻前にはほぼ満席になった。

講演会が始まった。座長（斉藤函館海洋気象台長）のてきぱきした司会で進められた。予稿集に熱心にメモを書き込む人、講師の一言一言にうなづく人、女性の参加者が多いのも目立つ。この盛会は新聞、TV（13社）、180ヵ所の機関、団体、学校にピラを郵送し、各種会議席上でもピラを配布するなど精力的な広報活動に支えられた成果であった。

反省点を一言、時間の制約から講師の持ち時間が20分と短かく大変気の毒であったこと、OHPが後方席では画面が小さく見づらかったなど次回の参考にさせていただきたい。最後に函館海洋気象台職員の御厚意に厚くお礼を申し上げます。

平成元年度北海道支部地方講演会案内

日 時：11月28日（火）

場 所：網走市民会館

テーマ：最近のオホーツク海沿岸の気象と農業

演題（仮題）・講師：

○オホーツク海沿岸における春の気温変化

宮 川 和 夫（網走地方気象台長）

○オホーツク海沿岸の流水

青 田 昌 秋（北大・低温研 教授）

○網走地方の気象と農業

佐々木 多喜雄（北見農業試験場長）

○網走地域の気象特性と畑地灌漑

山 下 重 吉（専修大学・北海道短大 教授）

映画上映：「気象衛生から見る四季の天気」